



MS452-00004 スピーカーキット (16cm)

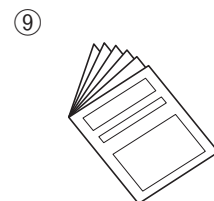
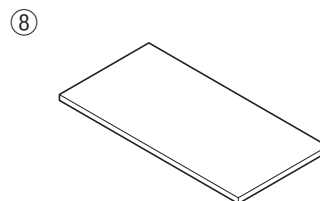
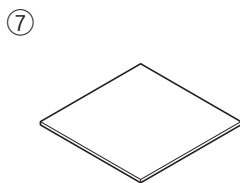
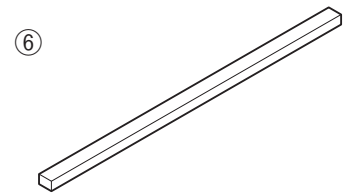
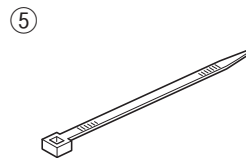
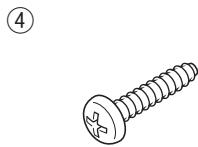
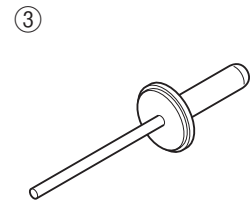
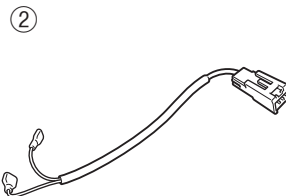
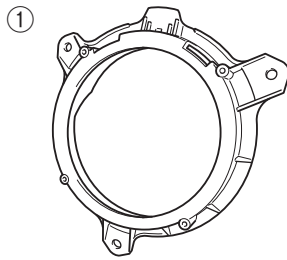
取付・取扱要領書

この度は、TRDスピーカーキット (16cm) をお買い上げ頂きありがとうございます。
本書は上記スピーカーキット (16cm) の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

■ 構成部品一覧表




No.	部品名	品番	個数	備考
①	スぺーサー		2	左右共通
②	サブハーネス		2	左右共通
③	リベット		6	
④	タッピングスクリュー		8	M4 × 12
⑤	結束バンド		2	L = 150
⑥	防振クッション		2	
⑦	両面テープ		1	20 × 20
⑧	クッションシート		1	100 × 50
⑨	取付・取扱要領書 (本書)		1	本書は大切に保管してください。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。また、JBLスピーカーに同梱されているスピーカー以外の付属品は使用しません。スピーカーキットの付属品を使用して取付けてください。
車種により使用しない付属品があります。

















■ 取付・取扱上の注意事項

この取付・取扱要領書では、安全にご使用していただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

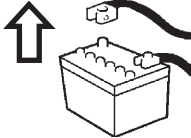
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が傷害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品は過去に事故歴の無い車両に、確実に装着が可能です。

-  **警告** 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故の原因となります。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品が干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品の装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付け部や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので直ぐにご使用をおやめください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音を感じたら、直ぐに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されております。悪路等での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **注意** 本商品の交換・取付け作業は、必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付けの際は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合している為、車検時を通常の検査と同様に受けられます。ただし、適合車種以外に装着した場合または、その他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取り外しに際し、クリップ等の紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** スピーカーの組付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、車両への取付け作業は車両部品を傷付けないように充分注意してください。
-  **注意** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせておりますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付け作業、ご使用に際しては、充分ご注意ください。
-  **注意** 取付け作業や走行により、車両本体または、本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

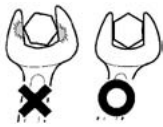
スピーカーキット（16cm）配線取付上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリーの復元作業は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



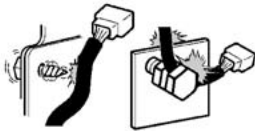
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

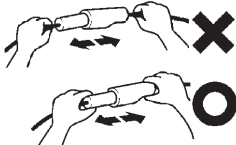


部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

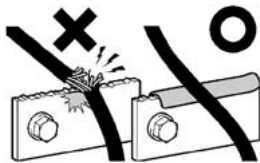


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

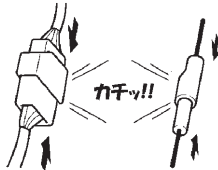


配線の取りまわしは

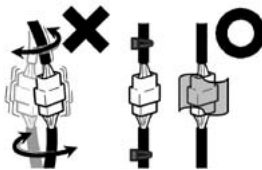
- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護する。
- ・配線が動いてバリ、エッジ部に接触や部品に噛み込みそうな時は、ガムテープ等で固定する。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意



バッテリー接続中に作業を行う際は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、構成部品表、構成部品図	1
2. 取付・取扱上の注意事項	2
3. 配線取付け上の注意事項	3
4. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図	4
5. 取付け要領	5～7
6. 作動確認、トラブルシュート	8
7. 回路図、取付完了後の確認・点検	9

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・ハサミ、カッター、エアリベッター、ドリル（φ5.0）

■ 本品は、1年・20,000Km走行の保証を実施します。

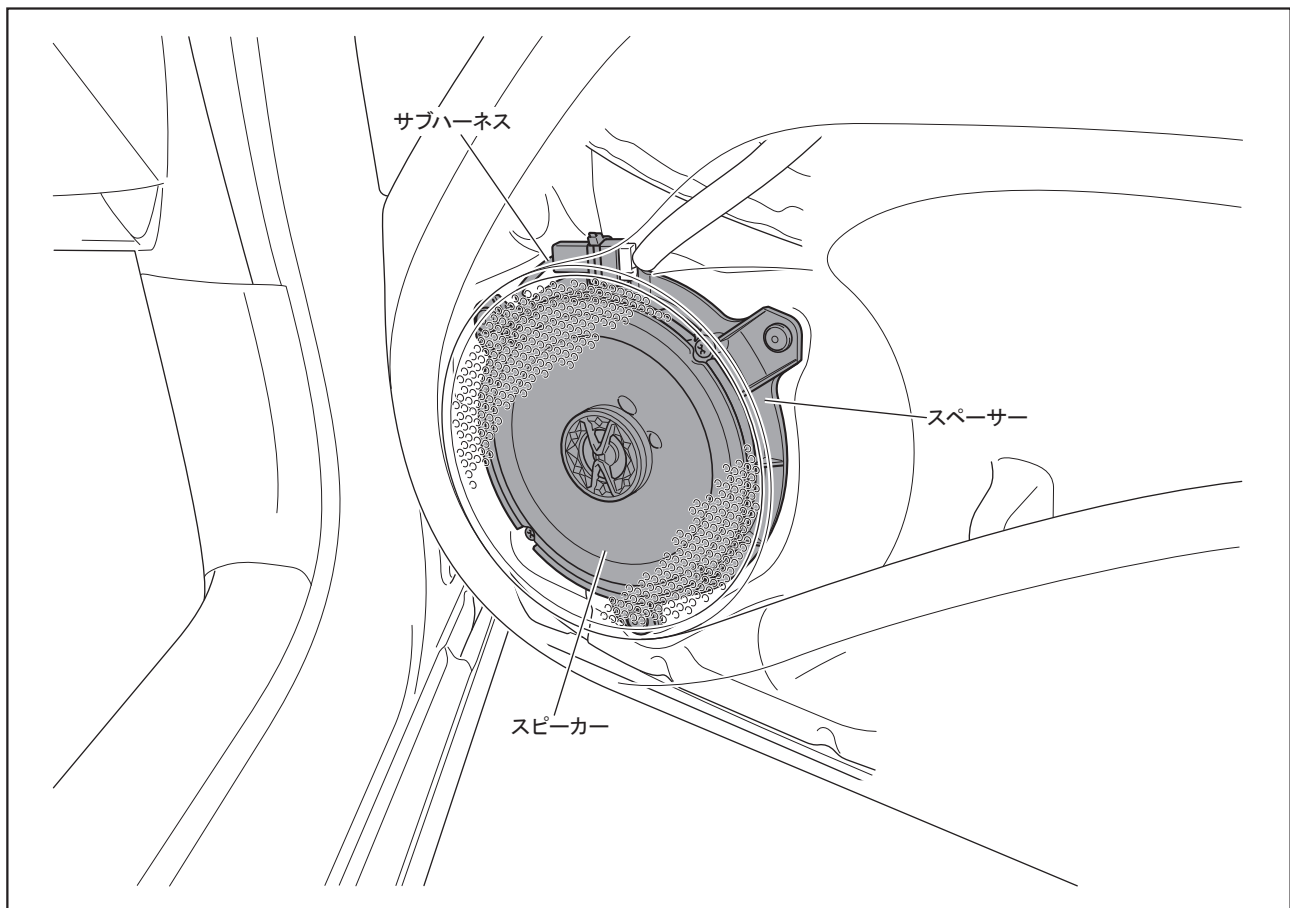
（1年または20,000Km走行時のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト〈<http://www.trdparts.jp/>〉

「保証について」をご覧ください。

■ 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

■ 取付構成図



■スピーカーキット（16cm）の取付けについて

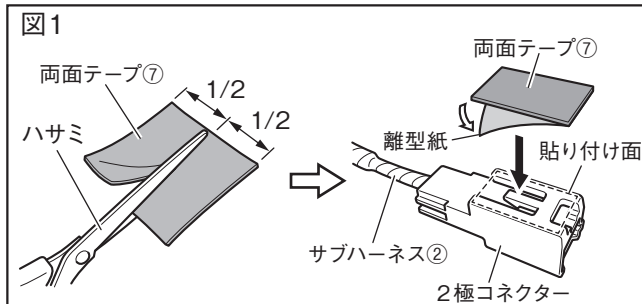
下記は、スピーカーキット（16cm）の取付け・配線作業を記載しています。
 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

△注意：ドアトリムを外す際は、該当車両の修理書に従い、ドアトリムを脱着してください。

□スピーカーの取付け準備

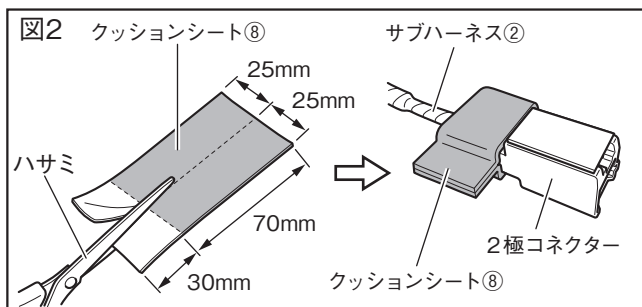
車両ドアトリムおよび車両スピーカーを車両修理書に従い、取り外す。

□サブハーネスの組付け



●両面テープ⑦の貼り付け

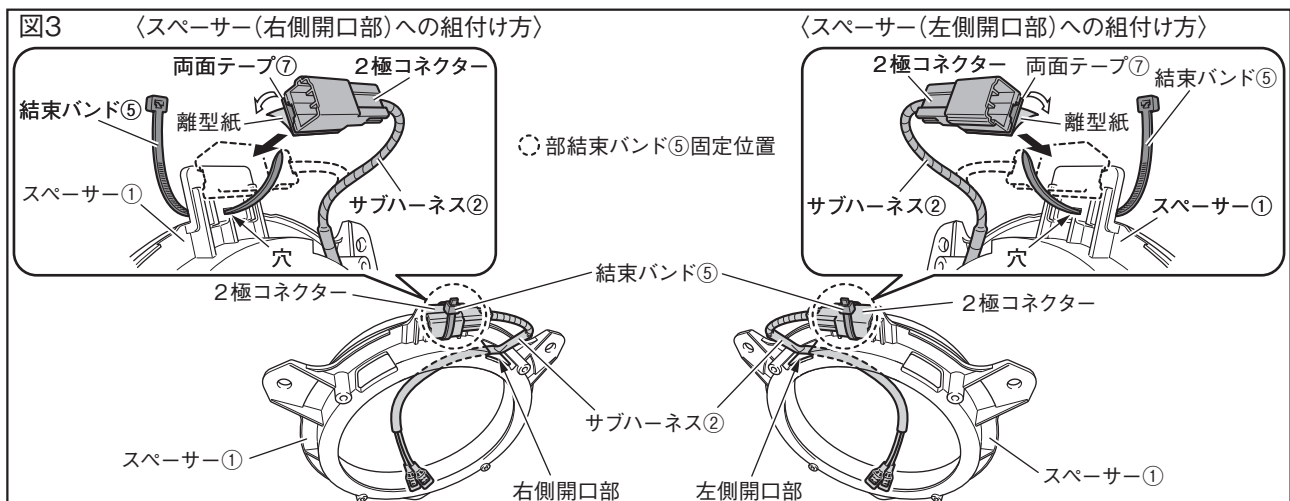
1. 図1のように、両面テープ⑦を半分にカットする。
2. 図1のように、両面テープ⑦の離型紙を剥がし、サブハーネス②の2極コネクタに両面テープ⑦を貼付ける。



●クッションシート⑧の貼り付け（車両ドアトリムにサブハーネス②が近い場合）

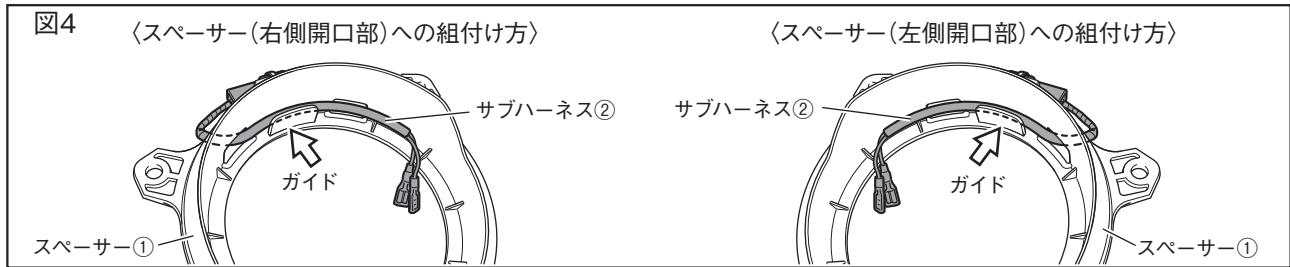
1. 図2のように、クッションシート⑧をカットする。
2. 図2のように、カットしたクッションシート⑧（25mm x 70mm）を巻き付ける。

👉アドバイス：カットして余ったクッションシート⑧は使用しません。

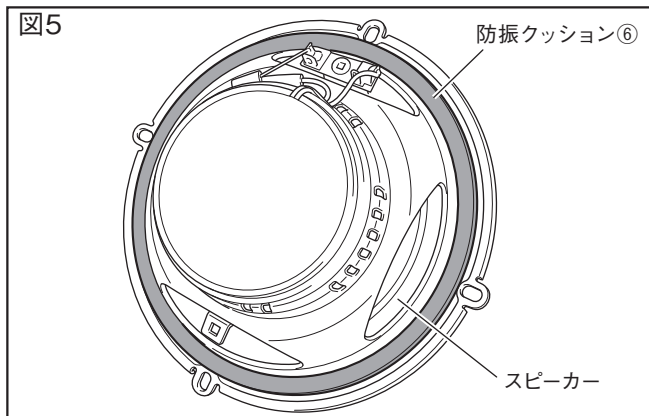


3. 図3のように、結束バンド⑤をスペーサー①の穴に通す。
4. 図3のように、サブハーネス②の2極コネクタに貼付けた両面テープ⑦の離型紙を剥がし、2極コネクタをスペーサー①に貼付ける。
5. 図3のように、サブハーネス②の2極コネクタを結束バンド⑤でスペーサー①に固定する。
6. 図3のように、サブハーネス②をスペーサー①の開口部に通す。

△注意：車両ハーネスのスピーカー用2極コネクタ接続向きにより、サブハーネス②をスペーサー①の右側開口部と左側開口部に通す経路が異なりますので、サブハーネス②の経路に十分注意してください。

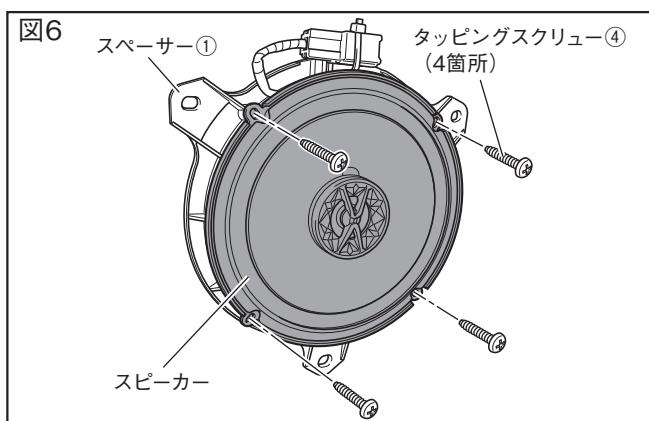


7. 図4のように、スピーカー①のガイドに沿わせながらサブハーネス②を固定する。

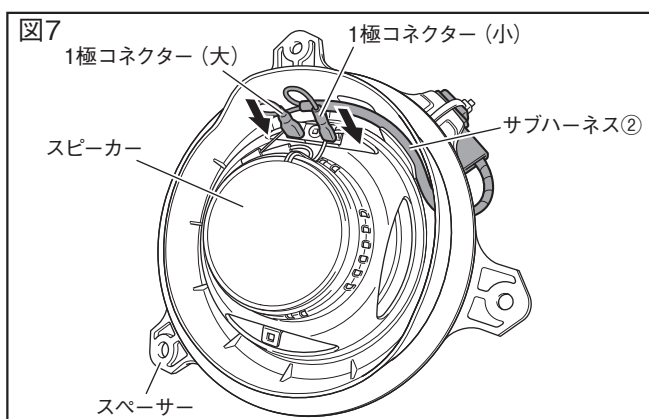


□スピーカーの組付け

1. 図5のように、スピーカーの外周に防振クッション⑥を貼付ける。

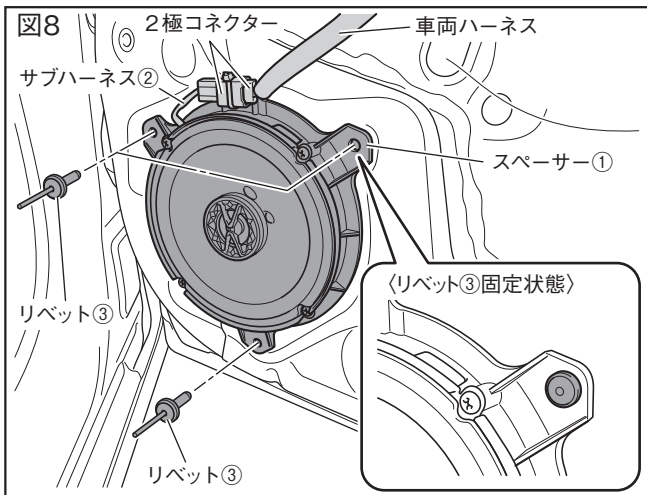


2. 図6のように、スピーカー①の穴とスピーカーの穴を合わせ、タッピングスクリュー④でスピーカーを組付ける。(4箇所)



3. 図7のように、サブハーネス②の1極コネクター(大)をスピーカー⊕の端子に、1極コネクター(小)をスピーカーの⊖端子にそれぞれ接続する。

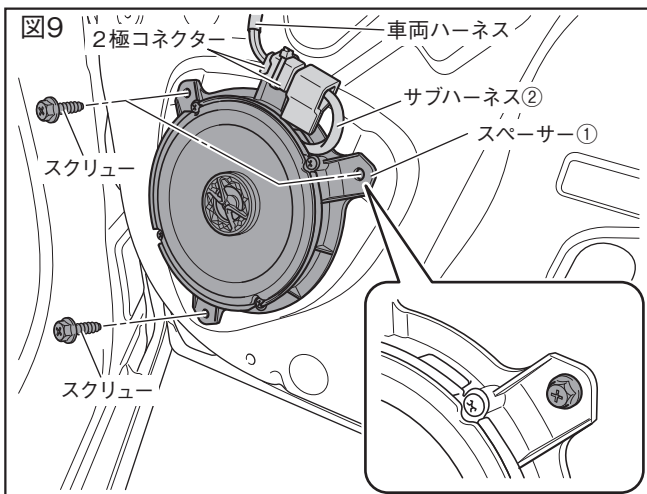
👉 アドバイス：同様にもう1つのスピーカーを組付けてください。



□スピーカーの取付け（リベット③固定の場合）

1. 図8のように、組付けたスピーカーをスペーサー①の穴とドア側のスピーカー取付け穴を合わせて、エアリベッターを使用してリベット③で固定する。（3箇所）
2. 図8のように、車両ハーネスの2極コネクタとサブハーネス②の2極コネクタを接続する。
3. もう片方のドア側も同様の作業を行う。

⚠ 注意：組付けたスピーカーは、サブハーネス②の2極コネクタと車両ハーネスの2極コネクタが無理なく接続できる方を必ず確認して固定してください。確認しないとコネクタが届かず接続できなくなる場合があります。



□スピーカーの取り付け（スクリュー固定の場合）

1. 図9のように、組付けたスピーカーをスペーサー①の穴とドア側のスピーカー取付け穴を合わせて、スクリューで固定する。（3箇所）

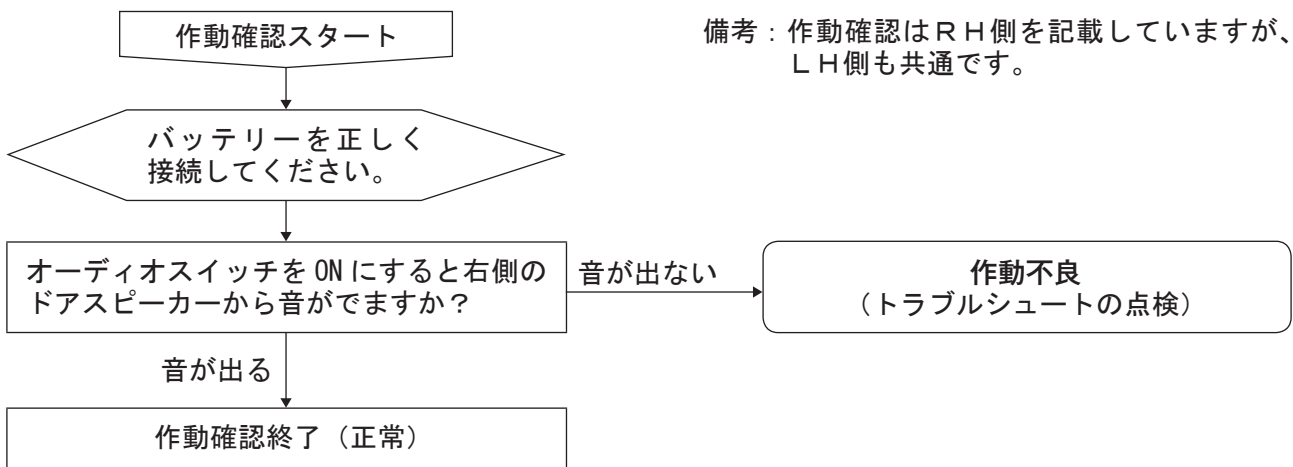
👉 アドバイス：スクリューは、車両に取付けられていたスピーカーのスクリューを再利用してください。

2. 図9のように、車両ハーネスの2極コネクタとサブハーネス②の2極コネクタを接続する。
3. もう片方のドア側も同様の作業を行う。

⚠ 注意：組付けたスピーカーは、サブハーネス②の2極コネクタと車両ハーネスの2極コネクタが無理なく接続できる方を必ず確認して固定してください。確認しないとコネクタが届かず接続できなくなる場合があります。

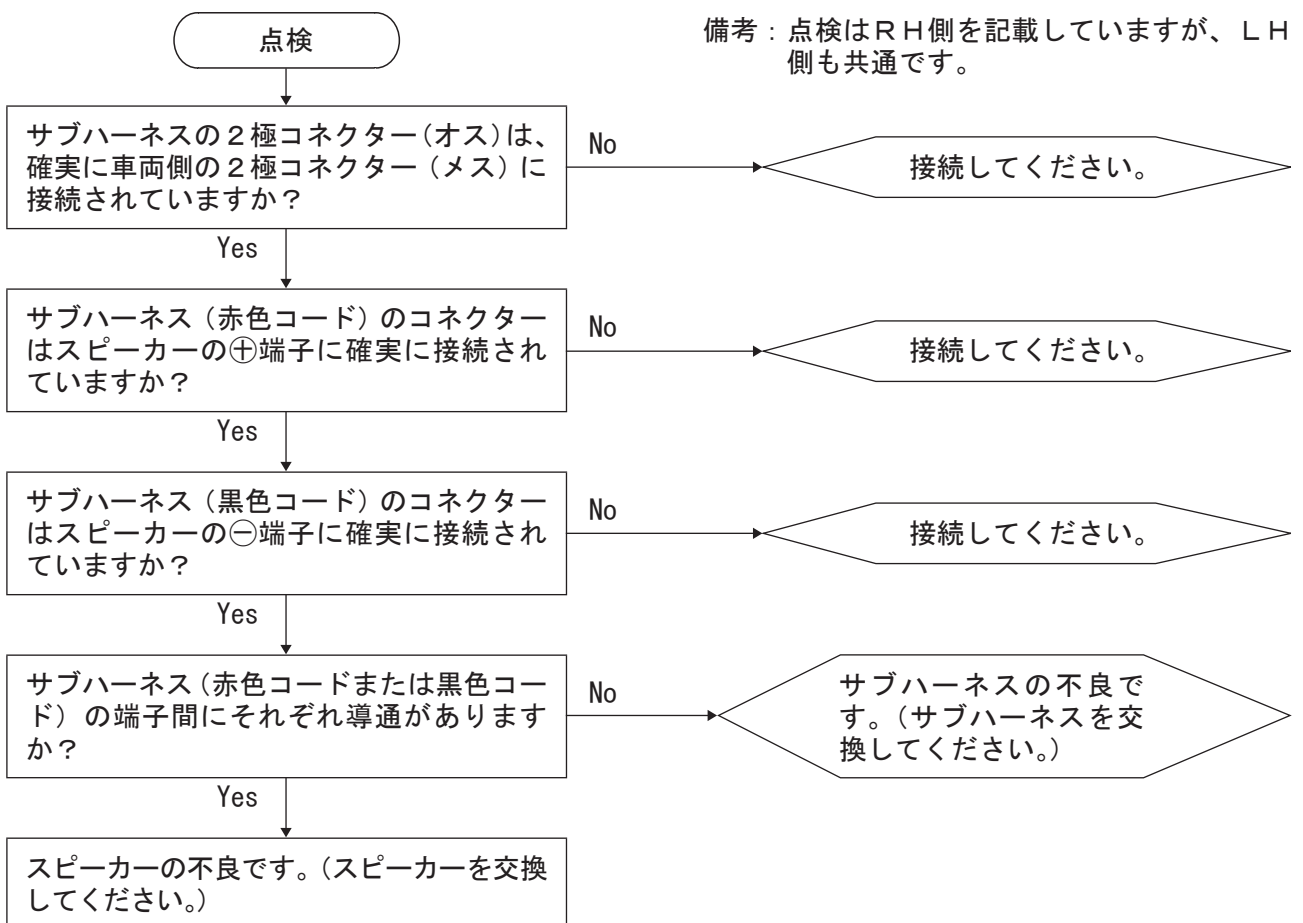
■ 作動確認

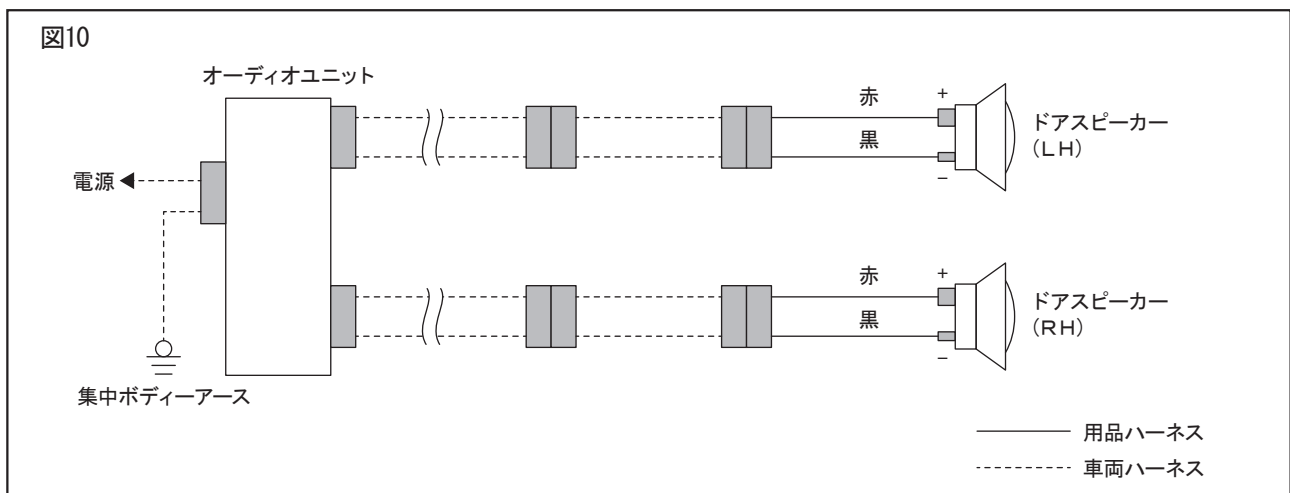
1. 作動確認を行う前に、配線および取付けに異常がない事を確認してください。
2. 以下の手順に従って作動確認を行ってください。尚、作動不良が発生した場合は、指示に従ってトラブルシューットの点検を実施してください。



■ トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。



回路図

 ドアトリムの復元

★ ドアトリムの復元は、車両修理書に従い、復元作業を行ってください。

1. 取り外した車両部品、コネクターの接続を行う。

⚠ 注意：車両部品の復元時、配線の噛み込みに注意してください。

2. バッテリー⊖端子を復元する。
3. イグニッションONの状態してスピーカーから音が出ることを確認する。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. ドアトリムがクリップにて車両に確実に取付けられているか点検する。
2. 車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. パワーウィンドウ、テールゲートロックの作動点検を行う。
4. イグニッションONの状態してスピーカーから音が出ることを確認する。
5. 該当車両の修理書に従い、取付けに脱着した部位の調整・再設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
 TRD 商品問い合わせ窓口
 TEL : 050-3161-2121
 http:www.trdparts.jp